

# 第49回東北中学校バスケットボール大会



試合No.	201	女子準決勝	
会場	マエダアリーナ	日時	令和1年8月10日 9:00

チーム A						チーム B															
仙北市立角館中	53	<table border="1"> <tr><td>8</td><td>1st</td><td>12</td></tr> <tr><td>13</td><td>2nd</td><td>13</td></tr> <tr><td>18</td><td>3rd</td><td>10</td></tr> <tr><td>14</td><td>4th</td><td>14</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	8	1st	12	13	2nd	13	18	3rd	10	14	4th	14		OT		49			鶴岡市立鶴岡第一中
8	1st	12																			
13	2nd	13																			
18	3rd	10																			
14	4th	14																			
	OT																				

No.	選手氏名	PI-in	2P	3P	FT	PTS	Fouls
4	戸村 ふうか CAP	×	6	3	1	22	1
5	渡部 涼空	×	4	1		11	2
6	高橋 美涼					—	
7	青柳 紅愛	×	4	1		11	3
8	佐藤 穂乃香					—	
9	戸部 美杏					—	
10	小林 楓菜					—	
11	大石 乙葉					—	
12	畠山 咲来	×				0	3
13	小木田 唯夏					—	
14	菅原 若葉					—	
15	草薨 心那	/				0	
16	藤元 惺凧					—	
17	藤元 惺凧					—	
18	田中 美有	×	3	1		9	2
コーチ	草薨 宏之				50.0%		
Aコーチ	山本 暢三						
本数			17	6	1		
合計点数			34	18	1	53	11

No.	選手氏名	PI-in	2P	3P	FT	PTS	Fouls
4	五十嵐 羽琉 CAP	×	6	1	1	16	3
5	三井 優和	×	5		2	12	
6	浅野 菜々美	×	1	2		8	2
7	石川 楓可	×	4		1	9	2
8	菅原 夕季	×				0	2
9	今井 陽菜乃					—	
10	伊藤 舞羽					—	
11	三浦 里咲子	/	2			4	
12	佐藤 真菜					—	
13	相馬 彩音					—	
14	須佐 里々菜					—	
15	石塚 果帆					—	
16	野尻 鈴華					—	
17	菅原 天					—	
18	松浦 真優					—	
コーチ	佐藤 知穂				57.1%		
Aコーチ	山木 貴弘						
本数			18	3	4		
合計点数			36	9	4	49	9

クルーチーフ(Crew Chief)	成田 康平
--------------------	-------

1stアンパイア(Umpire 1)	磯部 朱里
2ndアンパイア(Umpire 2)	長瀬 友起

テーブルオフィシャルズ 沖館中学校女子バスケットボール部

※ ×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー Fouls:ファウル \*印はエントリー変更

秋田県第1代表角館中と山形県第2代表鶴岡第一中との全国大会を懸けた準決勝。

1Q、両チームともにハーフのマンツーマンディフェンスでスタートし、角館#4戸村の3Pシュートからの得点で始まった。鶴岡第一は開始から約2分半得点が入らなかったが、#7石川のフリースローで得点すると、#4五十嵐、#6浅野、#7、#8菅原の得点で残り1分33秒で5-9と鶴岡第一リード。約4分間無得点の角館が1回目のタイムアウト。タイムアウト後鶴岡第一#6の3Pシュートを決めるが、角館#4も3Pを決めて8-12鶴岡第一リードで1Q終了。

2Q、角館#18田中のリバウンドからの得点で始まる。鶴岡第一#4が3Pを決めるも角館#5渡部、#4の連続得点で、残り5分16秒で15-15となったところで、鶴岡第一前半1回目のタイムアウト。鶴岡第一は、#6のドライブやフリースローで得点するが、角館#5、#4の得点でくわいていく。鶴岡第一#11三浦のジャンプシュートが決まり21-25となり、前半は鶴岡第一4点リードで終了。

3Q、鶴岡第一#4のドライブからの得点から始まる。鶴岡第一は、速攻やリバウンドから得点するが、角館#4が10連続得点し残り3分30秒で31-31の同点となる。鶴岡第一は#5三井のポストプレーからのバスケットカウントと速攻でリードするが、3Q終盤に角館は#7青柳の速攻、#4、#18の1on1などで8連続得点。39-35で角館4点リードで終了。

4Q、開始から3分で角館は#5のリバウンド、#7、#18の3Pで残り5分18秒で47-37と10点リードしたところで、鶴岡第一後半1回目のタイムアウト。その後、両チームともに得点を奪えずに、残り3分半を切ったところで鶴岡第一はディフェンスをオールコートにかえるが、角館は落ち着いてボールを運ぶ。ここで、鶴岡第一2回目のタイムアウト。

残り時間2分を切ったところで51-39で角館12点リード。ここから、鶴岡第一は#4のジャンプシュートと#6の3Pで51-44とする。残り59秒、角館7点リードで両チームタイムアウト。角館のベンチテクニカルファールにより、鶴岡第一に与えられた1本のフリースローを確実に決めて51-45。鶴岡第一は#4の得点で4点差とすると、スティールから#7も得点し、51-49の2点差となったところで、角館がタイムアウト。残り14秒、鶴岡第一はオールコートでプレスをかけるが、角館はうまくプレスをかわし、残り7秒#18のレイアップで4点差とし、53-49で角館が勝利。

両チームのキャプテンが攻守にわたって気迫のこもったプレーでチームを引っ張り、見ごたえのある準決勝となった。